

2026 年 10 月 1 日

「山梨中央銀行グループ AI ポリシー」の策定について

株式会社山梨中央銀行（頭取 古屋 賀章）は、AI（人工知能）の適切な利用と、そのリスクへの対処を両立させることを目的に、「山梨中央銀行グループ AI ポリシー」を策定しました。

1. 背景・目的

近年、生成 AI の普及により、企業活動への AI の組み込みが急速に進展している中、AI は生産性向上や新規ビジネス創出の源泉である一方、誤情報の発信、知的財産権・プライバシーの侵害、社会的影響の増大などのリスクも顕在化しており、AI 活用とリスク管理の両立が課題となっています。

当行グループは、AI を重要なテクノロジーとして位置づける中、これらの課題を踏まえ、AI の利用促進とリスク管理を両立するための基本姿勢を明確にすることを目的として、本ポリシーを策定しました。

2. 本ポリシーの概要（詳細は別紙をご覧ください。）

当行グループにおける AI の利活用による生産性向上や価値創出、リスク管理などの社会的責任の両立を実現するため、以下の 8 つの項目に分類しています。

- (1) 人間中心の原則
- (2) 安全性の確保
- (3) 公平性の担保
- (4) プライバシー保護とセキュリティの確保
- (5) 透明性とアカウンタビリティ
- (6) 教育とリテラシーの向上
- (7) イノベーションの推進と地域社会との共創
- (8) 法令遵守と知的財産保護

以 上

山梨中銀AIポリシー

山梨中央銀行グループは、パーパス「山梨から豊かな未来をきりひらく」を掲げ、その実現のため、AIを重要なテクノロジーとして位置づけ、質の高い金融サービスを通じて持続可能な地域社会の発展に取り組んでいます。AIの適切な利用とそのリスクへの対処を両立させることを目的に、以下の「山梨中央銀行グループAIポリシー」を策定します。

1. 人間中心の原則

私たちは、お客さま、従業員、その他関係者の尊厳と個人の自律を尊重し、幸福と生活の質を向上させるためにAIを活用します。AIの活用においては、人間による最終的な判断・介入権限を確保し、AIに過度に依存することを防ぎます。

2. 安全性の確保

私たちは、AIの動作や学習プロセス、利用の適正性を確保することで、生命・健康・財産・精神・環境に対するリスクを最小限に抑えるよう努めます。AIに関連するリスクについては、その特性を踏まえ、適切なリスク管理を実施します。

3. 公平性の担保

私たちは、AIが内包するバイアスを完全に排除できないことを認識しつつ、適切な人間の判断を介在させ、特定の属性や個人に対する不当な差別や偏見を排除し、公平性の確保に努めます。

4. プライバシー保護とセキュリティの確保

私たちは、AI活用に際して個人情報保護法等の関連法令を遵守し、個人情報や機密情報の適切な管理を行います。また、AIシステムの脆弱性に対して最新のセキュリティ対策を講じ、安心・安全なAI活用を追求します。

5. 透明性とアカウントビリティ

私たちは、AIの判断根拠に関する検証可能性を確保し、AIを利用するシステムやサービスにおける利用状況やリスク対策について情報提供を行い、透明性の確保に努めます。また、設計や意思決定プロセスのトレーサビリティ確保等により、アカウントビリティを果たします。

6. 教育とリテラシーの向上

私たちは、AIに関する正しい知識と倫理観を持ち、適切に利用できる人材の育成に努めます。

7. イノベーションの推進と地域社会との共創

私たちは、AIを活用した新たな価値創造により、社会課題の解決や顧客体験の向上、業務効率化を推進します。地域の企業・自治体・教育機関等との連携を通じて地域社会との共創に努め、社会全体の発展に貢献します。

8. 法令遵守と知的財産保護

私たちは、AIに関する法令を遵守し、コンプライアンス体制を構築します。また、AIの活用にあたり知的財産の保護にも努めます。

本ポリシーは、山梨中央銀行グループの全役職員等に適用され、すべてのAI関連活動におけるガイドラインとして機能します。また、技術革新や外部環境の変化に応じて継続的に見直し、改善を図ります。

以 上